

西日本インカレ（合同研究会）2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ）リュウコクダイガク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）カミヤゼミナール
龍谷大学	経済学部	神谷ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ）イツアスモールザワールド	フリガナ）シバタタクミ	4	無
イツアスモールザワールド	柴田匠		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）
対象者に配ったアンケート 指示棒

研究テーマ（発表タイトル）
子どもの幸福度に関する国際比較分析～日本とラオスの小学生のどちらが幸せか？

※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

一般的に発展途上国の子供達は貧困で学校に行けてなくてかわいそうという印象で、日本の子供達はある程度生活ができて、当然のように学校に行くのが当たり前で幸せという印象だと思う。しかし、本当にそうなのか？ 発展途上国だから不幸せで、先進国だから幸せなのか、その点について私達は疑問を持ち、幸福度について調査した。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

2013年の調査によると、一人当たりGDPや健康寿命などを含めた幸福度でラオスは世界99位で、日本は46位でした（国際統計格付センター）。これだけを見ると日本の方が幸せである。

	日本	ラオス
一人当たりGDP	38,550ドル	2,567ドル
平均寿命	83.84歳	66.28歳
[幸福度]健康寿命	75.1歳	48.3歳

小学校に最終学年まで残る割合	100%	95%
中等教育就学率	99.5%	51%
義務教育期間	9年 70位/195か国中	5年 最下位/195か国中
5才未満児死亡率（出生1千人当り）	3人 185位/191か国中	71人 33位/191か国中

出典：unicef

世界格付センター

教育の統計で見たラオスは、授業料・入学金の無償化や「初等教育の完全普及」を目指しているだけあって初等教育を修了する子どもたちの割合は高い。学年が上がった中等教育になると、アクセスの難しさ・就学の費用・子どもへの労働力としての期待などから一気に就学率が下がっていることがわかる。しかし、ラオスは多民族国家であり民族や地域ごとで貧困格差が大きい為、貧しい地域は就学率が低く、豊かな地域は就学率が高いとされている。今回私達が見てきたラオスの子供達は、比較的豊かな地域の小学校であったこともあり、発展途上国は不幸だという推測とは程遠く、自ら好んで学校で楽しんで勉強し、裕福な生活をしていた。

3. 研究テーマの課題

世界各国のリアルな現状の認知度を上げるために、日本とラオスの子供の幸福度を調査し、分析した結果を用いた研究結果を基に小学校などで授業を行う。これによって、自らの環境の現状を知ることによって改めて幸福感について考えるもらうことが課題である。

ラオスの教育制度は5-3-3制で、ラオスの教育制度は、就学前教育、一般教育、教員養成を含む技術・職業教育訓練、高等教育の4段階から構成されている。就学前教育には保育所と幼稚園が含まれ、一般教育には初等教育（1年生から5年生）5年間、前期中等教育（6年生から8年生）3年間、後期中等教育（9年生から11年生）3年間の合計11年が含まれている。初等教育5年間は憲法19条に基づき1996年に発令された首相令により義務化・無償化され、6歳以上の全ての国民は義務教育とされた5年間は初等教育を平等に受ける権利がある。として、身体や精神に問題が無い限りは中等教育まで続けるべきであるとしている。また、公立校の授業料は一部を除き、中等教育も高等教育もすべて無償である。

出典：北小倉小学校ホームページ

フィールド調査

日本



出典：北小倉小学校ホームページ

ラオス

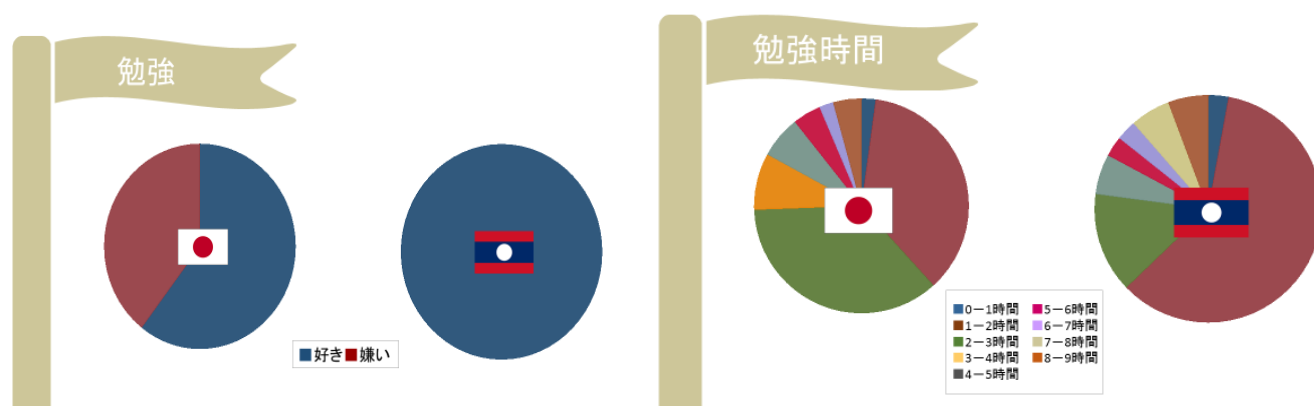


出典：フィールド調査時撮影

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

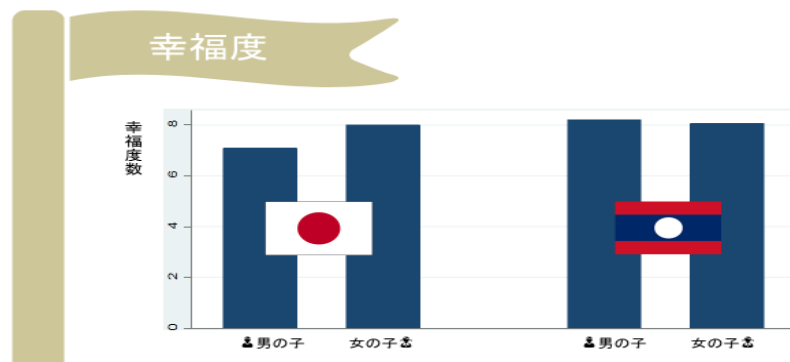
各国の子供の幸福度を上げるビジネス戦略として、発展途上国に各企業の情報や戦略を考える施設を設立し、学校で校外学習として参加してもらう。企業は子供達にその国に適した商品や政策のアイデアを提供してもらい、報酬として教科書・文房具を学校に寄付する。現状、学校や勉強は大好きですが、子供達は教科書や文房具を学校や親戚などに借りたりしており、満足のいく環境ではありません。文房具や教科書を子供達に与えることで、家での勉強時間も増加する。それによって、企業に貢献

したやりがいと同時に勉学への意欲向上により、幸福度を上げる事が出来、結果として国全体の幸福度の向上に繋がると考える。



5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

8月に訪問したラオスのビエンチャン郊外の私立小学校在学小学4、5年生と10月に訪問した京都府宇治市の5年生48人を対象に自身の生活と幸福度に関するアンケートを行いました。それによって考察される各国の子供達の現状と幸福度について調査した。



出典：独自のフィールド調査より

6. 結果や今後の取り組み

発展途上国のラオスは児童労働をするほど貧困で、GDP統計を見ても生活や学校に関しても不自由だろうと思って調査に行ったが、実際は私立の小学校だからというのもあってか生活に特に困った様子はなく、家でゲームしたり、スマホを触ったりと日本の子供達と変わらない生活をしていた。

加えて、お互いの国のイメージは双方とも自身の国の方が豊かで幸福度も高いと思っていた。しかし、独自のフィールド調査を行った結果幸福度はラオスの方が高かった。

7. 参考文献

「STUDY FOR TWO」 <http://studyfortwo.org/laos-history1/>

「世界統計格付センター」 <http://top10.sakura.ne.jp/Laos-p8.html>

「ラオスの教育セクターの概要」 www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/hyouka/kunibetu/gai/laos//sect08_03.pdf

「THE WORLD BANK」 <http://www.worldbank.org/>

「unicef」 <https://www.unicef.or.jp/>

「ラオスの初等教育問題と日本の国際協力」

<https://opac.tenri-u.ac.jp/opac/repository/metadata/3848/AGR001306.pdf>

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず使用するツール名をご記入ください。企画シートにご記入が無い場合は、発表当日の使用はできません。あらかじめご了承ください。

↑ここまでを4ページ以内に収めて、提出してください↑